

## シンポジウム「センター試験を考える」

毎年数十万人が受験する数学のセンター試験に関してはこれまで日本数学会で公に議論されたことはありません。一方、高校の数学関係者の間では、センター試験があるので文系の学生もかろうじて数学を勉強するという意見から、センター試験は問題の解き方が固定化されるので発想法が重要だと授業で説明しながら矛盾を感じるといった様々な意見が聞かれます。しかし、こうした意見もほとんど公にされることはありませんでした。多くの受験生が参加するセンター試験の数学教育に与える影響については大学と高校の数学関係者が実状を知り、もし改善すべき点があるのであれば改善へ向けて努力することが重要ではないかと思われまます。高校の数学の先生と、センター試験に関係したことがある大学関係者の参加の下に下記の要領で「センター試験」に関するシンポジウムを開催します。奮って御参加下さい。

なお、このシンポジウムの題名を、速報では「センター入試；これでよいのか」とお知らせしましたが、「センター試験を考える」に変更いたします。

日本数学会教育委員会

### 記

主催 社団法人 日本数学会  
日時 3月30日(土) 14:10 -- 17:00  
会場 明治大学駿河台キャンパス(リバティータワー)  
リバティールーム(1013教室)

### プログラム

14:10-14:40 永田 雅宜 京都大学名誉教授  
「センター試験のあり方について」

パネルディスカッション「センター試験：現状と課題」

14:50-17:00 パネルディスカッション

司 会	岡本 和夫	東京大学数理科学研究科
パネリスト	長澤 義博	山形県立寒河江高等学校
	佐藤 信行	神奈川県立川和高等学校
	高木 亮一	千葉大学理学部
(交渉中)	吉原 久夫	新潟大学理学部

連絡先： 委員長 砂田 利一 sunada@math.tohoku.ac.jp  
幹 事 上野 健爾 ueno@kusm.kyoto-u.ac.jp